

● 広告募集 ●

『あなたの会社や製品を紹介しませんか?』

本誌は、日本全国で活躍している工学院大学の卒業生を中心に、約 71,000 人に配布しています。貴社の活動や製品・サービスを紹介してみませんか。

- ◎募集対象.....企業、組織、団体などの広告宣伝など
- ◎掲載紙 工学院大学校友会報Vol.143
- ◎発行予定日.....2022年3月
- ◎発行部数.....約71,000部
- ◎主な配布先.....工学院大学、工学院大学附属高等学校の卒業生、専門学校の卒業生、卒業生のご父母、現任教員、学園関係者など
- ◎掲載料金.....第2表紙・第3表紙：¥240,000-
本文内：¥90,000- (1/2ページ) / ¥180,000- (1ページ)
- ◎募集締切り.....2022年1月15日

詳細につきましては、工学院大学校友会事務局までお問い合わせください。

● 記事募集 ●

『近況を校友会報やホームページで紹介しませんか?』

広報部では、校友のみなさまの活動を本誌やホームページを使って紹介するお手伝いをします。支部や同窓会、同期会主催のイベント案内、参加者募集や楽しかった活動の報告など、お気軽にお知らせください。

また、校友のみなさまがご執筆された書籍の紹介もいたします。詳細につきましては、工学院大学校友会事務局までお問い合わせください。



編集後記

昨年、年明けに新型コロナウイルス感染症流行の兆しが報じられてから1年あまりが経とうとしています。新年度に入ると、急速に感染が拡大し、教育現場では入学式が中止され、授業の多くがオンラインに移行しました。校友会の活動も大きく縮小せざるを得なくなりました。

ようやくワクチンがリリースされたものの、今なお先行き不透明な社会情勢ですが、校友各位のご支援により、何とか今年も校友会報をお届けできることとなりました。

2020年は国民的な規模で行動制限を受け、オリンピックの延期や大規模イベントの中止が相次ぎ、人と人とのコミュニケーションのカタチは大きく変容しました。しかし、当初は我慢の連続であったコロナ禍の社会活動でしたが、その中で新たな可能性も見えてきました。対面コミュニケーションが制限され、職場での勤務や会議の代替として在宅勤務やオンライン会議の導入が急速に進み、一堂に会しての会議や集会の代替手段も一気に高度化しました。オンライン化によって、遠隔地の校友同士の交流機会が増えたことも思いがけない発見でした。

危機的状況下で、遅延なく情報が伝達でき、距離に縛られないテレコミュニケーションの可能性が高く評価されています。校友会報オンライン化に向けた議論も、こうした流れに沿ったものと言えるでしょう。

校友会広報部は、今後も校友の皆様にとって有益な情報を、可能な限り遅延なく、また居住地に関係なくお届けするべく尽力してまいります。

最後に、本誌の発行に多大なるご支援・ご協力をいただきました学園理事長、大学学長、附属中学校・高等学校長、各同窓会長、原稿をご執筆いただいた校友各位に、この場を借りてお礼を申し上げます。

工学院大学 校友会報

vol.142

発行日 ● 2021年3月19日
 発行 ● 一般社団法人工学院大学校友会
 住所 ● 〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2
 電話 ● 03-3342-2064 / 03-3340-1649
 F A X ● 03-3342-2035
 メール ● jimukyoku@kogakuin.or.jp

編集 ● 一般社団法人工学院大学校友会 広報部
 [部長] 関谷 源次(建築)
 [副部長] 平山 徹夫(専門)
 [部員] 唐鎌 貞郎(機械)、坂口 教子(機械)
 浅利 信博(化学)、名取 勝敏(電気)
 新海 俊一(建築)、田中 元樹(高校)
 姫沼 行宏(専門)、甘粕 一彦(電気)

印刷・製本 ● 株式会社五色
 制作 ● 株式会社TMKエージェンシー

工学院大学校友会のホームページはこちらから

<http://www.kogakuin-koyukai.jp/>

2021 vol.142

Kogakuin University Alumni Association 2021 一般社団法人 工学院大学校友会

校友会報





ご挨拶 2021

早く新型コロナウイルスのワクチンが開発され、全てが元通りになることを願う今日この頃、工学院大学の校友の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

2020年度は新型コロナウイルス拡散防止に明け暮れ、校友会行事として予定しておりました全国支部長会議(2020年5月)、社員総会(5月)、ホームカミングデー(10月)、新春の集い(2021年1月)等の開催を中止いたしました。さらに11月に予定していましたが校友会全国大会の開催を、1年の延期といたしました。

【新しく取組んだテーマ】

①2020年度は、思うような校友会運営が出来ない残念な年度でしたが、新型コロナウイルス拡散防止対策の影響により、現役学生の家計支持者の収入激減や本人のアルバイト収入の減少等で、修学の継続が難しくなる困窮学生に対して、校友会兵庫県支部を始め、多くの校友の方々から大学の「新型コロナウイルス対策 学生・生徒支援募金」に協力したいとの声が寄せられたことから、校友会として積極的に取組むことにいたし、6月から開始いたしました。

その途中報告ではありますが、2021年の1月31日現在、303名の校友・18支部・10B会の皆さまから、合計1,148万8,550円の支援を頂きました。母校の理念である「無限の可能性が開花する学園」の下、すべての学生、生徒が安心して学園生活を送ることができるように、校友の皆さま方の温かいご支援に感謝申し上げます。

この校友会報が皆様に届く頃、新型コロナウイルスが収まらない場合は、引き続きご協力をお願いいたします。

②「校友同士のネットワーク創り」を目的に、校友交流事業にチャレンジを開始いたしました。その一つとして、文化庁が首里城の火災を教訓に「世界遺産・国宝等における防災対策5年計画」の決定を受けて、早期事例として「松江城の防災対策計画」があり、島根支部の方々と「国宝・重要文化



一般社団法人 工学院大学校友会
会長 田野邊 幸裕

財の防災対策」に対応できるノウハウの習得を目指す取り組みを開始いたしました。今後、全国各地で類似の案件が発生した場合、該当支部に「島根支部・校友サポートセンター」が中心となり支援できる体制を構築し、校友同士の交流と社会貢献を目指します。

③新型コロナ問題を前向きに考え、校友会運営のIT化を強化していきたいと考えています。第一歩として既に各部の部会にリモート会議を推進していますが、少し拡大して全国規模の会議として全国支部長会をリモート会議(1月10日)で実施しました。第1回ではいろいろ改善点も見つかりましたが、今後、運営要領を改善し、積極的に発展・進化させたいと考えています。工学院大学らしい近代的な技術を活用することにより、若い校友の参加や全国の校友と、より良いコミュニケーションが図れることを期待しています。

【嬉しいニュース】

①2020年春の叙勲で鳥羽栄治氏(1966年大学院修士課程 電子工学専攻卒 信州大学名誉教授)、松田健一氏(1978年大学建築学科卒)、多田舜保氏(1964年大学工業化学科卒)の3名の校友が叙勲の栄に浴され、学園・校友会にとり大変うれしいニュースでした。

②勉学と野球の両立を目指した練習が計画通り進み、充実した高校生活に役に立つことを期待して、校友の方からの寄付で建設された「附属中学校・高等学校屋内練習場」が完成し、7月15日に後藤理事長・雨宮野球部監督(高校同窓会)・附属高校野球部員等の多数の関係者が参加して、落成式が行われ、高校球児のデモンストレーションを楽しみました。高校HP・校友会HPをご覧ください。

私が会長に就任(2019年5月)いたしました時に、4項目【(1)財源の確保について、(2)学園・学生への支援・交流の強化、(3)日本全国のネットワークの有効活用、(4)活躍されている校友を積極的にPR】を主目標と定めチャレンジを開始しましたが、本格的に取組むべき昨年度は、思うように活動できず残念で、申し訳ありませんでした。

新しい年度は、早く新型コロナウイルスワクチンが全国民に行き届き、正常な形で校友会活動ができ、そして11月6日は大勢の校友が集まり、盛大に全国大会が開催されることを願っております。

残り僅かな任期ではありますが、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

中期計画 「コンパス2023」の リスタート

2020年は、新型コロナウイルス感染症の拡大に悩まされた一年でした。校友の皆様には、学生・生徒の支援について、多大な協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。感染症拡大は、本年も続いているので、その対策には、引き続き万全を期したいと思います。

本学では、六か年の中期計画「コンパス2023」を策定し、各年度の事業運営をしています。昨年はその折り返し点で、振り返りと修正を行いました。本年は、改正された中期計画のスタートの年になります。

都内大学定員の厳格化や新宿キャンパスのリニューアル準備等で、経営的には大変厳しい状況ですが、歴史ある私学の雄としてさらに輝けるよう、校友の皆様を支援を改めてお願い申し上げます。



学校法人工学院大学 理事長
後藤 治

コロナ禍中における 教育の質保証

コロナ禍の中、校友の皆様におかれましても、旧来とは一変した生活をお過ごしのことと拝察いたします。

人間同士の接触を妨害する新型コロナウイルスは、教育界にも大きな打撃を与え、変革を迫りました。本学でも急を要した全学的な遠隔授業は、情報学部がタスクフォースを担当副学長らと協力して短期間で準備したにも関わらず、現在までトラブル知らずの完成度の高さです。このような遠隔授業のメリットも生かす教育の質保証や透明性が、社会から求められています。学生諸君が自由闊達なキャンパスライフを一日も早く取り戻し、本学で身に付けた実力を社会で発揮できるよう、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。また、生涯メールのご活用も重ねてお願いいたします。



工学院大学 学長
佐藤 光史

「Global教育3.0」の 完成を目指して

校友会のみなさまには、平素のご厚情に心より感謝申し上げます。

ところで、新型コロナ感染症の拡大は、世界を一変させてしまいました。教育においても変わらざるをえない状況が、たくさん起こりました。緊急事態宣言によって、多くの学校は休校を余儀なくされたのはご承知の通りです。

休校になった学校と生徒を繋ぐ方法は、Onlineしかない。21世紀型教育を標榜する附属中高では、既にICTの環境整備が整いつつあり、授業ではICTスキルを駆使して、プロジェクトベースの教育が中心に行われていました。この状況下で生徒も教師も、ご家庭も「教育の質」をおとさないための協力を惜しみなくくださり、海外の生徒たちともリアルタイムで交流が始まり、まさにGlobal Online Educationが自然な形で始まっています。



工学院大学附属中学校・高等学校 校長
平方 邦行

Campus Topics

学園トピックス

学園

コロナ禍、大学・附属中学校・附属高等学校ともにオンライン授業を導入

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大学では、2020年前期はすべてオンライン授業となり、夏期特別授業・後期授業はオンライン授業と対面授業を併用して実施されました。対面授業は、入構を希望しない学生や遠方に住んでいる学生のために、オンラインでも受講可能な形式がとられました。

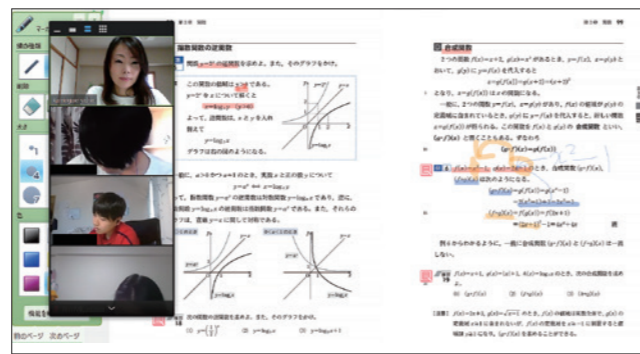
学園広報サイト「窓」(<https://www.kogakuin.ac.jp/mado/>)では、2020年度にベストティーチャーの表彰を受けた田村雅紀教授(建築学科)と相川慎也准教授(電気電子工学科)の授業を特集し、コロナ禍での授業の様子を紹介しています。大学の授業が大きく変わった1年でしたが、教員はオンラインでも教育の質を高く保てるよう、様々な工夫を凝らしました。受講学生たちは、対面でのコミュニケーションの機会が減った分、オンライン掲示板などで学び合う機会が増えました。



一部の授業は対策徹底のうえ、キャンパスで行われた

2020年4月に発令された緊急事態宣言を受けて、工学院大学附属中学校・高等学校でもオンライン授業が行われました。4月はZoomの操作に慣れる期間と位置づけ、朝と放課後のホームルームで利用。その後、順次、主要教科へと利用を拡大。6月には、1日6時間の授業をオンラインで行いました。双方向のコミュニケーションを重視し、クラス単位での情報共有、課題提出状況管理などにコミュニケーションアプリが積極的に導入されました。

学校行事でもオンラインツール活用しており、5月には高等学校2年生主催で、国際的私立学校連盟であるRound SquareのイベントをZoomで実施しました。世界各国15校から約70名が参加し、オンラインならではの国境を越えたイベントとなりました。



附属中学校・高等学校のオンライン授業はZoomで行われた

新宿アトリウムオープン、アートコンペ開催

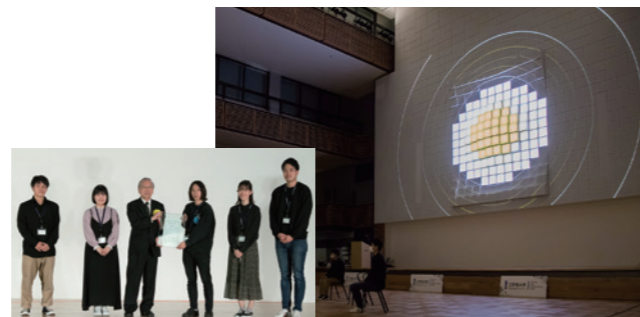
2020年夏、新宿アトリウムのリニューアル工事が完了し、工学・建築・情報の要素を含む最先端のデジタルアート表現の場に生まれ変わりました。巨大スクリーンの中央には、常設では日本初となるキネティック・ウォール(可動式の壁)が極彩色の繊細な光を放ち、立体的に動きます。最新のプロジェクションマッピング装置や立体音響システムも設置され、映像・音響・照明を用いたさまざまなクリエイティブ表現を行うことが可能です。

これに先立ち、「第1回 工学院大学新宿アトリウムデジタルアートコンペティション」が、工学院大学の学生と工学院大学附属中学校・高等学校の生徒を対象に、2019年11月から始動。最先端技術とアートを組み合わせた表現に挑戦することを目的に開催されました。校友会は協賛団体の一つとして、学生たちの活動を支援。最終公開審査では、校友会特別賞の枠が設けられました。

総勢31組の応募者の中から、2020年3月に4組の大学生チームと1組の高校生チームが、第1段階アイデア審査を通過。2020年11月18日(水)に開催された最終公開審査では、1組ずつ完成した作品を上映し、プレゼンテーションを行いました。

校友会特別賞は、建築学専攻修士2年 福井 献一さんが代表を務める建築系学生5名の作品「TIME GROOVE」が受賞。アトリウム内の人数の増減に応じて、楽器によるBGMが変化し、プロジェクションマッピングやLEDと連動する作品を提案しました。表彰式では校友会・田野邊幸裕会長から表彰状が贈られました。田野邊会長は、学生たちの発想の豊かさに感銘を受け、「今はコロナ禍で難しいが、本学のOB・OGにこの新しいアトリウムで、彼らの作品を見てもらえる日が待ち遠しい」と期待を込めて語りました。

(新宿アトリウムデジタルアートコンペ最終公開審査 開催レポート：<https://www.kogakuin.ac.jp/atrium/news/2020120401.html>)



大学

3,000個の灯で彩るキャンドルナイト

学生プロジェクト「まち開発プロジェクト-SmartTech」が、2020年12月25日(金)と26日(土)に新宿中央公園で開催された「Candle Night @ Shinjuku Central Park -灯(ほし)に願いを-」の企画・運営を行いました。

このイベントは、小田急電鉄や角筈図書館などの西新宿に拠点を置く事業所・公的機関と共同で開催され、今回で3回目を迎えました。近隣の子どもたちを中心に多くの人々が塗り絵や絵かきを楽しんだキャンドル型のLEDライトが、公園を光で包み込みました。初めてオンライン会場も設け、会場に出向かなくても楽しめる工夫を凝らしました。「まち開発プロジェクト-SmartTech」は、チラシと塗り絵、キャンドルツリーをはじめとする新宿中央公園会場のデザインと、オンライン向けの撮影やSNSを活用した広報活動を担当しました。



学生プロジェクトが企画・開発したハチミツ製品、プリンスホテルのアメニティに

学生プロジェクト「みつばちプロジェクト」と「Science Create Project」が、東京プリンスホテルとコラボレーションし、東京の自然の恵みを楽しむオリジナル宿泊プラン「KUTE Honey Stay」が誕生しました。このプランには、東京産ハチミツから生まれた「KUTE Honey ハンドクリーム」「KUTE Honey



in the Bath (入浴料)」のアメニティと東京タワーメインデッキ入場券が付いています。入浴料とハンドクリームには、工学院大学のキャンパスで採取したハチミツが使われています。ハチミツ本来の香りや天然保湿成分を活かした製品で、学生たちが養蜂、採蜜、製品化まですべての工程を手がけました。都内に11あるプリンスホテルの中でも、史跡やパワースポットに囲まれた自然豊かな立地が魅力の東京プリンスホテル。実体験を通して、自然との共生や地産地消のものづくりを学ぶ学生たちの活動に共感いただき、今回のコラボレーションが実現しました。

今回アメニティに採用された「KUTE Honey ハンドクリーム」「KUTE Honey In The Bath(入浴料)」は、21世紀工手育成募金キャンペーン企画のお礼の品にもなっています。
(「21世紀工手」育成募金キャンペーン企画：
https://www.kogakuin.ac.jp/alumni/donation/21engineering_campaign.html)

附属中学校・高等学校

屋内練習場完成、野球部が練習開始

工学院大学附属中学校・高等学校では、野球をはじめとした、多目的な運動、競技で利用可能な「屋内練習場」を新設しました。本施設は校友・卒業生の寄附により完成しました。設計は工学院大学建築学部建築デザイン学科・榎原徹准教授が行いました。2020年7月15日(水)に行われた落成式では、卒業生代表として校友会・田野邊幸裕会長より野球部を初めとする中高生徒へ激励のメッセージが贈られました。

本施設は、約70本の連続した木製フレームで構成され、グラウンドを始め周辺環境と調和した外観デザインが特徴的です。柱が連なる壁面が無いセミオープン空間のため、グラウンドで練習するメンバーと分断されることない練習環境を実現しました。幅5m×長さ61mの長方形空間には、バッティング・ピッチンググリーンとウエイトルームが設けられ、3組が同時に投球できる仕様です。本施設により、雨天時での運動、練習が可能となりました。練習場では、野球部が公式戦に向けた練習を開始。今後、野球をはじめとした多目的な運動での活用が期待されます。



機械系同窓会 活動紹介



機械系同窓会
会長 植木 幸裕

会長挨拶

2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大が波状的に押し寄せ、先が見えないまま事業年度が終わってしまい、これまでの会員相互の親睦・提携を深め、人脈づくりや教養を深める場とするために、いかに多くの会員を集めるかに腐心してきた活動が根底から覆され、その対応策を講じられなかった、反省すべき年でした。

活動報告

定時・定例の役員会は全てリモート会議で開催したものの、毎年恒例の「報告会兼意見交換会」、「秋の集い」、年2回開催の「機機械会(キキカイカイ)」は全て中止、発表資料等準備万端整えて頂いていた「活躍するOBの報告会」の次年度延期等、集いたくとも集えない、同窓会始まって以来の最も活動が停滞した年となった。この感染症拡大の収束が見えない中、2021年度もこの様な状況が続くことを覚悟して、これまで遠方の方が参加しにくかった会合やイベントをリモートの利点を生かした開催方法を検討して、同窓会の目的を達成すべく、活動を続けて行きます。なお、全国の多くの会員の皆様方から、「新型コロナウイルス対策学生・生徒支援募金」にご協力を頂きました。当同窓会としても役員会の承認を得て、イベント中止等により執行できなかった予算にプラスアルファして募金をさせて頂いたことをご報告申し上げます。

化学系同窓会 活動紹介



化学系同窓会
会長 古川 和弥

会長挨拶

化学系同窓会会長の古川です。2020年度をもちまして二年間の任期満了退任となります。この一年は、新型コロナ影響により思うような活動・対応ができず申し訳ありません。微力ながら次期役員に協力できればと思っております。

活動報告

輪番制で講演を行っております「化学のタベ」は全て中止としました。若手OBが多く参加していた科学教室への演示計画も、科学教室自体が行われないことから、次回を見越した活動を見送り、2021年度は何か活動が出来ればと考えております。新設した学生表彰「英語応援賞」を執り行いました。TOEICの取得点数や複数回受験による点数アップ幅に対して奨励を行うもので、学生への勉学援助を目的に設けております。対面形式での表彰は自粛しまして、郵送対応にて応募のあった対象学生11名に対し、表彰状と副賞の授与を実施しました。

新しい生活様式のなか、同窓会という組織に何が求められるのか不安に思っておりますので、アイデアやご要望などお待ちしております。

電気系同窓会 活動紹介



電気系同窓会
会長 島林 正美

会長挨拶

電気系同窓会の使命は、校友や在校生を繋ぎ支えることです。具体的には、会誌「隆星」発行、学生の資格取得支援、インターンシップ報告会優秀者表彰などがあります。今後共、同窓生・学生を力強く支えてまいります。

活動報告

当同窓会は、6学科及び大学院の同窓生で構成され、2020年12月末現在、14,601名が社会の各分野で活躍されています。

当同窓会による、校友会とは異なった視点での支援活動をご紹介します。

- ①資格取得報奨制度：同窓会が認定した資格試験に在学学生が合格した場合に、受験料相当を報奨金として授与するものです。今までに172名の実績があります。
- ②インターンシップ報告会優秀者表彰：大学で実施しているインターンシップ利用者の報告会を聴講してプレゼン技術に焦点を当てて、優秀な学生を表彰しています。

今後も、同窓生のみならず在学生との連携を強化しつつ、力強く支える存在としての電気系同窓会を目指して活動を進めてまいります。

建築系同窓会 活動紹介



建築系同窓会
会長 高木 雅行

会長挨拶

2020年4月に前鈴木会長より引き継ぎました高木雅行です。皆様よろしくお願いたします。オンライン会議やテレワーク時代に地方にお住まいの卒業生の皆様との協働など、コロナ禍の時代に可能な新しい活動方法を見出し、会費納入方法の見直しを計り同窓会財政の建て直しを目指します。

活動報告

2014年より、同窓会誌は卒業生全員に発送する広報誌と、年会費納入者へ発送し書店で販売する書籍として2種類の「NICHE」を刊行してきました。会の財政基盤の弱体化、コロナ禍で海外や地方取材が実施できないなどの諸事情により書籍版については2020年発行の「NICHE07」で一旦休刊します。広報誌は2021年にVol.44を発行し、今後も新たな編集方針も加え継続していきます。故武藤章先生設計の工学院大学白樺湖学寮を大学より引き継ぎ、減築・整備した「白樺湖夏の家」は2018年度日本建築家協会からJIA25年賞を授与されました。2020年は長野県の同窓生のご協力を頂き、劣化状況の調査を実施し今後の修繕の必要性などを調査いたしました。今後は、周辺に存在するその他の建築資産も含め、現役学生の皆様とも活動可能な取組を計画し、新たな同窓会事業の在り方を見直し行きます。

附属高等学校同窓会 活動紹介



附属高等学校同窓会
会長 若林 勝司

会長挨拶

コロナ禍という未曾有の社会情勢の中、同窓生の皆様や関係各位には、ご支援・ご協力を賜りましたこと、大変感謝申し上げます。ウィズコロナ時代の同窓会活動とはどのようなものなのかを考える一年となりました。新しい時代の同窓会活動を創造すべく、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

活動報告

例年開催し、多くの参加者を迎えていた「ホームカミングパーティ」や「夢工祭(文化祭)おもいでCafe」など、オフラインで会員相互のコミュニケーションが取れる事業は、新型コロナウイルス感染拡大の防止という観点から、全て取りやめる決定をいたしました。そのような状況下でも、新会員になれる高校卒業生への記念贈呈事業や、会員・在校生とのコミュニケーションツールである会報「夢広場」の発行などについては、当初の計画通り実施することができました。2021年度については、コロナ禍における新しい同窓会活動を創造し、実践する一年と考えます。デジタルトランスフォーメーション(DX)が進んでいる昨今では、オンライン会議ツールを用いたイベントや役員会の開催もその一案です。今後も多くの会員の皆様が集える場を目指して活動を展開してまいりますので、みなさまのご協力をお願いいたします。

専門学校同窓会 活動紹介



専門学校同窓会
会長 相澤 良夫

会長挨拶

同窓会員の皆様には、日頃からご支援・ご協力をいただきまして心から感謝申し上げます。同窓会の「維持費」につきまして、納入とご寄付に多大なご協力をいただきありがとうございます。また、校友会の「維持協力会費」、学園の「新型コロナウイルス 学生・生徒支援募金」にも皆様から温かいご芳志を戴き、役員一同、厚く御礼申し上げます。

活動報告

2020年度の同窓会の活動は、2020年1月に発生した新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、すべての行事やイベントが延期・中止となってしまいました。2019年度の活動報告、決算報告につきましては、会計監査、役員各位へ電磁的に書類審査をお願いし、議決権行使書の提出によって成立とさせて頂きました。2019年度の活動報告、決算報告、2020年度の活動計画、予算計画は、専門学校同窓会ホームページに掲載いたしました。2021年度の同窓会活動は、コロナ禍での新たな活動様式として、会員間のコミュニケーション向上ツールとしてリモートによる事業活動(研修・会議等)を充実して行きます。今後も伝統ある専門学校同窓会の魅力ある事業活動の発展のために努力する所存です。会員皆様の一層のご協力とお力添えをお願い申し上げます。

総務部

総務部長 島林 正美

副部長／植木 幸裕

部 員／一柳 裕昭、片原 陽児

久禮 和彦、水口 信

関谷 真一、小口 俊明

井上 博明

総務部は、原則として月1回の定例会の他に、社員総会時や集中審議の必要性がある場合に臨時部会を開催して活動をしています。

主な業務は、各種規則の制定や定款・規則類の改正に関する事、社員総会開催に関する事、校友会の事業計画に関する事、他部に属さない事項等多岐にわたっています。

2020年度は、国外事業を行うための定款改定、事務局職員の定年年齢の改定、パートタイマーの時給額改定を手がけました。

また、地方支部や各同窓会、各部会でIT利用(例えばリモート会議開催のためのシステムセットアップ等)をサポートするチームの立ち上げ企画立案等を行いました。

2020年度開催予定であった公開セミナーは、新宿キャンパスでの開催が前提であったことから延期を余儀なくされ、2021年度事業といたしました。

今後、我が校友会が一段と輝いて魅力ある組織となるよう、部員一丸となって活動してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

財務部

財務部長 佐藤 弘規

副部長／川島 久宜

部 員／小川 文夫、山口 和男

新海 昌美、高木 雅行

太田 正利、駒崎 健一

アドバイザー／相澤 良夫

財務部は学園に継続的に寄附を行う健全な財務体質を目指して、四半期ごとの決算書において、校友会の財産が適正に経理処理されていることを確認するとともに、維持協定会費協力のお願いや、学園による「新型コロナウイルス対策 学生・生徒支援募金」への全国の校友の協力のお願いを続けてきました。2020年度は各部による学園への貢献事業をサポートするため積極的な予算を組みましたが、新型コロナウイルスの影響で、様々な事業が見合わせとなりました。

校友会員は終身会員ですが、会費納入率は他校友会に比べて低いため、校友の皆様へ新しい維持協定会費納入方法として、預金口座振替サービスのご登録をいただけますようご協力をお願いいたします。

広報部

広報部長 関谷 源次

副部長／平山 徹夫

部 員／唐鎌 貞郎、坂口 教子

浅利 信博、名取 勝敏

新海 俊一、田中 元樹

姫沼 行宏、甘粕 一彦

広報部は、1.校友会報の発行 2.校友会ホームページ(Webサイト)の更新、管理を主な活動としております。

2020年度は、月1～2回のペースで広報部会をオンライン会議にて行ないました。

1. 校友会報の発行

年1回の発行物である「工学院大学校友会報」は、学園の卒業生が、学園の活動状況や現況、イベント報告、各同窓会、各支部等の情報等の情報を分かり易くお伝えするよう編集作業に取り組んでおります。

2020年度はコロナ禍の影響でイベント等の開催が中止となり情報が少ないため今回は事務報告程度としてページ数を削減いたしました。今後は将来に向けてWEB化を図って参ります。

2. 校友会ホームページの(Webサイト)の更新、管理

校友会や学園のイベント、各同窓会、各支部、OB・OGからの様々な活動情報を紹介しております。2020年度は他大学のホームページを調査しました。今後は、より分かり易く閲覧できるようにリニューアルに向けて検討していく予定です。

同窓会組織部

同窓会組織部長 宮木 義雄

副部長／内野 正之

部 員／成田 治、小野寺 康

小沢 和重、唐崎 幸弘

鈴木 敏彦、吉田 立

田中 元樹、近藤 松男

同窓会組織部は、新春の集いの企画・運営、学術講演会の企画・開催、各種交流活動への支援などの活動を行っています。

2020年度はコロナ禍の影響により各同窓会が主催する交流活動や校友会が主催する「新春の集い2020」の開催が中止となりました。

校友が集う機会が失われるなか、Web会議の仕組みを利用しリモートによる初めての校友会員交流会「サタデートーク」を第5回として、2020年11月28日(土)に「実世界データ分析の失敗事例と成功事例」と題して情報学部 経営情報システム研究室 教授 三木良雄先生をお迎えし、興味深い講演テーマで開催しました。

従来は新宿キャンパスで開催しており、遠方の皆様にはご参加いただけておりませんでした。リモート開催により遠方の皆様にもご参加を頂くことができました。

支部組織部

支部組織部長 湯尾 慶一

副部長／櫻井 良尚、中尾 英明

部 員／横田 仁、三田 一男

白井 精滋、小野寺 康

菊川 亘、中里 利男

小林 将夫、小林 保男

岡安 彰

アドバイザー／上野 耕平

支部組織部は、各地域支部の活性化を目的に活動を行っています。今年度は新型コロナウイルスの蔓延により、多くの活動が進まない状況となってしまいました。

1. 新規支部設立への協力

2020年度は新規立ち上げ支部は無く、47支部です。未設立支部は岐阜、三重、岡山、徳島、愛媛、台湾の6支部です。引き続き支部設立の支援活動を進めます。

2. 全国支部長会議

5月予定の全国支部長会も、中止と致しましたが、2021年1月10日にネット会議を使用して実施しました。初めての試みだったこともあり、運営など反省すべき点もあり、改善が必要と考えています。

3. 支部活性化への活動

各支部の前年度の活動報告書、維持協定会費を基に、支部活動支援金の交付を行なっています。

4. 全国大会開催支部への支援

2020年開催予定の「大分大会」は、2021年11月6～7日へ延期致しました。また2023年度に開催される次の全国大会は高知県支部に決まり、調整を始めています。

学園連携部

学園連携部長 矢ヶ崎 隆義

副部長／若林 勝司、長谷川 努

部 員／木下 幸秀、志村 豊

望月 千尋、大向 嵐

勝谷 尚武、加藤 滋

小川 隆、田中 元樹

篠崎 秀夫

学園連携部の主たる活動目的は、学園の諸事業および学園に属する生徒と学生諸君の諸活動に対する支援です。新型コロナウイルス感染禍の中で、学園主催行事の縮小や中止、各学校の授業のリモート形式への移行等があり、その中で学園連携部の支援活動の多くも停滞や停止せざるを得ない状態が続いています。

現在、学園は厳重な感染予防処置体制を構築、中・高等学校の授業はほぼ対面授業に戻り、大学の授業はリモート形式と対面形式とで展開されています。これに伴い、学園の諸事業と生徒および学生諸君の諸活動とが徐々に動き出しています。これに呼応して、学園連携部では学園の諸行事に対する助成等を再開すると共に、生徒および学生諸君の諸活動についても顧問の先生方のご意見を伺いながら慎重に支援活動の再開をしつつあります。

学園連携部では、新型コロナウイルスの収束を見据え、学園と生徒および学生諸君への支援について、その日に向けた即応体制を整えています。

2021年度校友会主な行事予定

なお、2020年度同様、全ての予定は状況により日程等が変更になるか開催できない場合がありますので、イベントの前には必ず校友会ホームページにてご確認ください

開催予定日	行事内容	開催場所 (変更になる場合があります)	問い合わせ先
5月29日(土)	2021年度全国支部長会	新宿校舎	校友会事務局 電話 03-3342-2064 03-3340-1649 fax 03-3342-2035 e-mail : jimukyoku@kogakuin.or.jp
5月30日(日)	第9回社員総会 (同時開催：各同窓会報告会・懇親会等)	新宿校舎	
11月6日(土) ～11月7日(日)	第19回全国大会大分大会	別府亀の井ホテル	
1月9日(日)	新春の集い2022	新宿校舎	
3月中旬予定	学術講演会	新宿校舎	

2020年度 表彰学生・生徒

学校	学部	学科	学年	氏名
工学院大学	大学院	機械工学専攻	2年	飯島 夏鈴
工学院大学	大学院	化学応用学専攻	1年	石澤 健
工学院大学	大学院	電気・電子工学専攻	1年	吉井 優輝
工学院大学	大学院	情報学専攻	2年	多部田 敏樹
工学院大学	大学院	建築学専攻	2年	川村 茉優
工学院大学	大学院	システムデザイン専攻	2年	チュ ヤシン
工学院大学	大学 工学部	機械工学科	2年	宇佐美 羅生
工学院大学	大学 工学部	機械システム工学科	2年	鈴木 海渡
工学院大学	大学 工学部	電気電子工学科	4年	遠藤 優海
工学院大学	大学 情報学部	情報通信工学科	4年	小林 香生留
工学院大学	大学 情報学部	コンピュータ科学科	4年	吉田 昂平
工学院大学	大学 情報学部	情報デザイン学科	4年	中川 遼
工学院大学	大学 情報学部	システム数理学科	4年	野村 理科
工学院大学	大学 建築学部		2年	岡本 美月
工学院大学	大学 建築学部		2年	岩澤 綾子
工学院大学	大学 建築学部		2年	佐藤 洸太
工学院大学	大学 先進工学部	生命化学科	2年	渡邊 丈
工学院大学	大学 先進工学部	応用化学科	2年	中島 礼羅
工学院大学	大学 先進工学部	環境化学科	2年	青木 琉称
工学院大学	大学 先進工学部	応用物理学科	2年	大熊 豪
工学院大学	大学 先進工学部	機械理工学科	2年	三瀬 理衣
附属高等学校		普通科	2年	早川 成来
附属高等学校		普通科	3年	山本 晃輔
附属高等学校		普通科	3年	田倉 主税
附属中学校			2年	クーリックアレックス
附属中学校			3年	大石 未来

2020年度の社員総会開催時の表彰式は中止となり、個々に送付等の結果となりました。

訃報

謹んでお知らせいたします。
ご冥福をお祈り致します。

飯塚 辰典氏 2021年2月24日 逝去
附属高校電気科1978年卒
氏は校友会監事を務めておられました。

伊勢 明氏 2021年1月18日 逝去
専修学校建築科1958年卒
氏は校友会元相模支部長を務められました。

板谷 信氏 2020年12月20日 逝去
大学建築学科1962年卒
氏は専門学校教員および校友会の評議員を務められました。

小倉 昭夫氏 2020年12月14日 逝去
大学機械工学科1954年卒
氏は校友会監事を務められました。

山下 司氏 2020年12月2日 逝去
氏は元建築学科 名誉教授を務めておられました。

千代田 節雄氏 2020年8月4日 逝去
専修学校建築科1958年卒
氏は校友会元東京支部長を務められました。

浅見 利夫氏 2020年5月末日 逝去
大学工業化学科1963年卒
氏は校友会役員・東京支部副支部長を務められました。

赤木 徹也氏 2020年4月12日 逝去
氏は建築デザイン学科教授を務めておられました。

廣澤 雅也氏 2020年4月7日 逝去
氏は元建築学科 名誉教授を務めておられました。

姫野 有文氏 2020年3月31日 逝去
大学電気工学科1963年卒
氏は校友会副会長を務められました。

三浦 宏文氏 2020年3月5日 逝去
氏は工学院大学元学長 名誉教授を務められました。

麻生 好彦氏 2020年1月 逝去
大学建築学科1963年卒
氏は福岡県支部長を長く務められました。

受賞報告

2020年に以下の3名が叙勲を受けられましたが伝達式は残念ながら中止になりました。

令和2年春の叙勲において信州大学名誉教授の鳥羽栄治氏(1964年電気工学科卒業・1966年大学院電気工学専攻)が瑞宝中授賞(教育研究功労)の栄誉を受けられました。

氏は東京大学工学部での助手を経て1973年より2006年まで信州大学で教鞭をとられ、この間1983年から1年間カナダトロント大学客員教授として国際教育と研究に貢献されると共に計測自動制御学会のフェローとして日本の科学技術分野の発展に尽くされました。



令和2年春の叙勲で、麗澤大学名誉教授 多田舜保氏(1964年大学工業化学科卒)が、教育研究功労による瑞宝小綬章の栄誉を受けられました。氏は、麗澤大学で研究助手として勤務する傍ら工学院大学夜間部に学び、卒業後は千葉大学専攻科を経て麗澤大学で高分子化合物の研究に励み、「伝記 ライナス・ポーリング(ノーベル賞受賞2回、科学者・平和運動家)」を翻訳するに至りました。その後も教鞭をとりながら、研究者として科学史に貢献する発表を成し遂げつつ学生指導にも尽力されました。また、工学院大学時代の同期生との同窓会にも毎年参加され、母校をこよなく大事にされております。



学園・校友会の施設利用について

新宿校舎中層棟8階にあるサロン調のファカルティクラブは、会員の方がご使用の際に、校友会事務局経由で利用申し込みをされた場合には、利用料が無料となります(卒業生同士の使用・50名程度まで)。同窓会、支部・クラス会、懇親会等にご利用ください。ご利用のお申込みは、校友会事務局にお願いします。校友会HP(申請・届出フォーム)からも申し込みができます。

お申込み後、事務局から利用可否を返信いたします。

なお、2020年度より新型コロナウイルス感染拡大防止対策による構内立ち入り制限措置のため、現在全ての学内施設の使用申込は不可となっております。

令和2年春の叙勲において、松田健一氏(1978年大学建築学科卒・1979年専攻課終了)は、瑞宝単光章の栄誉を受けられました。氏は1979年に高山工業株式会社(東京都千代田区)に入社。本営業部、西東京営業所を経て1988年9月より技術部主任に就任。この間に防水現場の第一線にたつ傍ら、技能検定と建築学会の活動がライフワークとし、穏やかな人柄で責任感が強く、幅広い知識を有することから業界から厚い信頼を得ております。長い年月にわたり技能検定委員を努め当該職種の発展に大きく寄与されました。



空手道部・機械工学科昭和36年卒業の川崎功氏が令和元年度生涯スポーツ功労者・文部科学大臣表彰を受賞

永年静岡県で空手道にかかわり現在静岡県空手道連盟の名誉会長

経歴
昭和13年4月生まれ
山形県出身

昭和32年工学院大学工学部機械工学科入学
昭和33年工学院大学空手道部入部
日本空手協会総本部庄司寛師範の指導を受ける
昭和36年4月豊年製油株式会社入社清水工場勤務
同工場に空手部を創部社員の育成指導に努める
公益社団法人日本空手協会八段位師範会委員
平成2年協会静岡県本部長就任 現在名誉顧問
静岡県空手道連盟 常任理事
平成25年静岡県体育協会功労章受章 現在参与
(空手道部OB会 記)



校友会ホームページ

<http://www.kogakuin-koyukai.jp/>

事務局

e-mail : jimukyoku@kogakuin.or.jp

電話 : 03-3342-2064

03-3340-1649

「新型コロナウイルス対策 学生・生徒支援募金」への御礼と継続支援のお願い

本学園では、昨年5月に、新型コロナウイルスの影響により経済的に困窮している学生生徒への支援として、「21世紀工手」育成募金の枠組みの中に「新型コロナウイルス対策 学生・生徒支援募金」を設けました。それに対して、校友会の全面的なご協力のもと、早々に多数の校友の皆様からご支援を頂戴いたしました。「困っている後輩たちを応援したい」という皆様の温かなお気持ちに、誌面を借りて御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

皆様のご厚志は、経済的負担を強いられている学生に向けて、学生生活支援金(応急給付奨学金)、学費減免(緊急支援奨学金)及びオンライン授業への対応のためのWi-Fiレンタル、パソコンレンタルの費用に充当させていただきました。これまでに延べ532名の学生に、総額約5,600万円の支援を実施したところです。

大学においては、後期授業から対面授業とオンライン授業を併用し、徐々に日常を取り戻してきたところでした。けれども、昨年末に感染者数が再び増加に転じ、学生の生活費や学費の資源となっているアルバイト先の休業、学費を負担される御家族をはじめとする保証人様の家計急変など、多くの影響が今後も長期間にわたり続くことが予想される事態となつてしまいました。

そのため、本学園では「新型コロナウイルス対策 学生・生徒

支援募金」の募集を引き続き行うことといたしました。学生・生徒が本意にも経済的な理由により修学を諦めることがないように、引き続き校友の皆様より格別のご支援・ご協力を賜りたく、改めてお願い申し上げます。

学校法人工学院大学 理事長 後藤 治

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ご寄付お手続きのご案内 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

■お振込み

お近くの金融機関から以下の口座にお振込をお願いいたします。

口座名義：学校法人工学院大学募金口
振込先口座番号：三菱UFJ銀行 新宿中央支店 普通 5810141
みずほ銀行 新宿西口支店 普通 1162718

*振込用紙のご請求は、以下の総務課までお願いいたします。
本学所定の振込用紙で三菱UFJ銀行、みずほ銀行の本支店でお振込みされた場合は振込手数料は無料となります。

◎大学のホームページを通じてクレジットカードでのお申し込みも受け付けております。トップ画面の検索機能より「21世紀工手育成募金」でご検索ください。

■税制上の優遇措置について

本学が発行する「寄付金受領書」にて、税額控除を受けることができます。

■問い合わせ先

学校法人工学院大学 総務・人事部 総務課
〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2
TEL: 03-3340-0121 FAX: 03-3345-0228
mail: donation@sc.kogakuin.ac.jp

2020年度 工学院大学校友女性躍進賞の受賞報告

同賞は、本学を卒業した女性で優れた業績・成果を上げた方を学園創立記念日に学園が表彰するものです。本年度は、宮内真理さん(1994年化学工学科を卒業後に大学院に進学、1996年に工業化学専攻を修了)が受賞されました。宮内さんは、現在、TDK株式会社にて品質保証本部 マネジメント部海外推進課課長として活躍されておられます(学会発表2件、公刊論文4件、知的財産：出願60件、登録32件、他)。校友会では、宮内さんに続く校友女性の自他推薦をお待ちしております。(学園連携部部長 矢ヶ崎隆義)

ご本人からお言葉を頂きましたので写真と共にご紹介致します。

このたびは、名誉ある賞を賜り大変光栄に存じます。この表彰は、私にとって身に余る栄誉であるだけでなく、卒業から今までを振り返る機会となりました。会社に入ってから、研究開発業務、知的財産業務、品質保証活動業務に従事して参りました。気がついたら24年、夢中であつたという間でした。知らなかったことに会おうと、どう取り組んでいくか、何を勉強したらいいか、自分の成長になるなと前向きに取り組むことができたと思います。これは、技術的な知識だけでなく、いろいろな出来事に対して自分の興味となる見方、その経験を自分の糧にしていくこと、社会に出て自分が成長していくこと

を授業や研究を通じて大学大学院で教えていただいたことでした。

社会活動で活躍している女性の比率が増えてきたと感じる機会が増えてきました。これから活躍していく方に出会ったときに、こうなりたいと思っていただけるような姿になっていけるよう、成長し続ける姿勢を見せられるようになっていきたいと思ひます。

宮内 真理



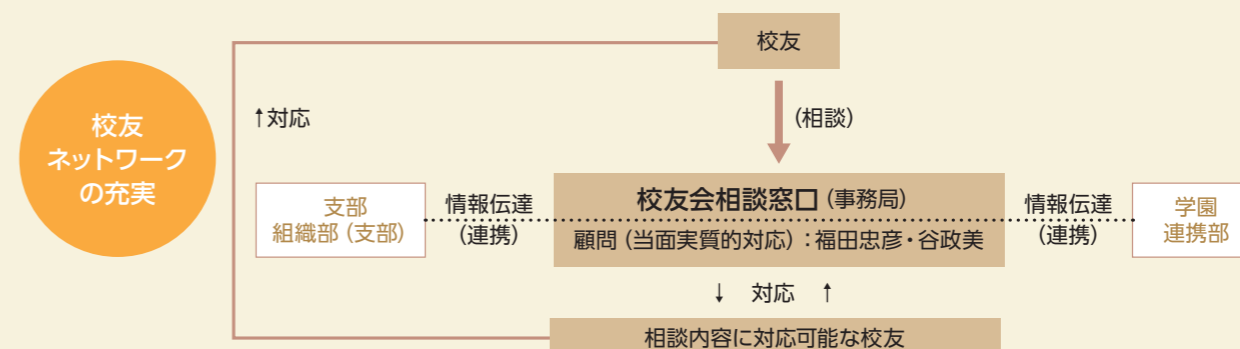
校友サポートセンターのご案内

校友会に「校友サポートセンター」を開設しました!!!

お気軽にご相談ください。お待ちしております。

- 趣旨** 日本全国で活躍している「校友と言う素晴らしい財産」を活かしたネットワークを全国支部と一体になり構築・運営する。
- 目的** ●学園の130年余の歴史と伝統を誇りとし、更なる発展を目指して学園と校友会が連携して「学生及び校友会員のために、校友会は何ができるか?」に挑戦する。
●具体的な成果を上げ「学生や校友から信頼され頼りにされる校友会」を目指す。
- 対象** ①校友 ②仕組み成熟後は学生及び御父母も対象としたい。
対象者は校友サポートセンターに対し相談や支援を依頼したい時、事務局又は顧問に対し、電話・FAX・メール・手紙・訪問など可能な伝達手段を使い気軽に用件を伝達する。
- 運用** 相談・問合せの具体例
●自分のテリトリー以外で仕事をするようになったが、当該地区で協力してくれる校友はいないか。
●技術的難題の相談に乗ってくれる校友はいないか。 ●このような起業をしたいが、相談に乗ってくれる校友はいないか。
●人生の先輩としてアドバイス(失敗や成功の経験)を受けることも可能か。
●地元に戻りたいが、当該地区に強い校友はいないか。
などなどの相談・問合せが校友サポートセンターにあった場合、窓口で、対応してくれる支援者を探索・確認をして、発信者に情報を伝達または紹介する。注) 相談・問合せ者の個人情報については厳格に対応する。

校友サポートセンター [情報の流れイメージ]



生涯メールサービス提供のお知らせ

(学)工学院大学では学園や校友会からのお知らせや利用者間のコミュニケーション手段として2019年3月より生涯メールサービスの提供を開始しております。校友の皆様も申請頂くことによりご利用できます。

対象者

- ・大学・附属中学校高等学校・専門学校の卒業生
- ・大学院の修了生
- ・専任教職員

メールアドレス

メールアドレス1
(ローカルパート)@ g.kogakuin.jp

メールアドレス2
(ローカルパート)@ kute.tokyo

※2つのメールアドレスが利用可能ですが、どちらのメールアドレスも同じメールボックスに届きます。
※ローカルパートは申請時に希望を申し出ていただけますが、先着順となるため重複時は調整となります。

申し込み方法

学園ホームページにある「生涯メール利用案内」をお読みの上、電子メールもしくは郵送にて校友会事務局までお申し込みください。その際、氏名、希望ローカルパート(3つ)、卒業学校(学部学科)、卒業年、本人確認書類(運転免許証、健康保険証など氏名、生年月日、住所記載の公的証明書)のコピー、校友会員番号が必要となります。郵送の場合は送付先の郵便番号、住所、氏名(本人)を記載の上、所定の切手を貼った返信用封筒(長4が望ましい)も同封してください。

学園ホームページ 生涯メール利用案内

https://www.kogakuin.ac.jp/ict_support/

申込み・問合せ先

工学院大学 校友会事務局

E-mail: jimukyoku@kogakuin.or.jp

住所: 〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2

維持協力会費納入者ご芳名

日頃より校友会活動にご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。維持協力会費納入のお願いに際しましても多大なご協力を頂きありがとうございます。

おかげさまで、2021年1月末までに 661 件2,683,500 円のご協力を頂きました。校友会活動や学園及び学生支援に運用活用しておりますことをご報告申し上げます。

2020年2月～2021年1月までに維持協力会費を納入された方々のお名前を同窓会別、卒業年順に掲載しております。敬称は省略いたしました。複数の同窓会所属の方は振込票の会員番号の同窓会に掲載いたしました。

機械系同窓会

- 1952 田島 邦久
- 1956 横地 良成
- 1957 小川久二男
- 1957 柿木 秀輝
- 1957 仲田 桑男
- 1957 岡田 明
- 1958 海老澤 雄
- 1958 齋田 三郎
- 1958 伊藤 正
- 1960 田中 正春
- 1960 小沼 義郎
- 1961 渋谷 博明
- 1961 高橋 淳
- 1961 横松 壽二
- 1962 齊藤 四郎
- 1962 関谷 敷
- 1962 福田 忠彦
- 1962 宮内 保幸
- 1962 森川 勇
- 1962 吉川 和彦
- 1963 返町 功
- 1963 馬場 靖孝
- 1963 日野 岩雄
- 1964 笠原 又一
- 1965 岩田 秀明
- 1965 小林 朗
- 1965 白木信二郎
- 1965 関谷 重彦
- 1965 田中 英生
- 1965 実川 武
- 1965 酒井 康雄
- 1965 志賀 剛
- 1965 鈴木 肇
- 1965 田辺 英孝
- 1965 尾身 幸男
- 1965 寺島 秀雄
- 1966 岩本 信治
- 1966 上村 正和
- 1966 柴 和利
- 1966 玉田 輝男
- 1966 本田 信之
- 1966 松原 浩一
- 1966 渡辺 邦雄
- 1967 紺屋 隆
- 1967 横田 泰明
- 1967 布目 潮崇
- 1967 茂木 一男
- 1968 大山 正雄

- 1968 金子 充
- 1968 重村 修二
- 1968 滝島 正之
- 1968 五十嵐幸信
- 1968 簡野 紀夫
- 1968 木下 幸秀
- 1968 塩川 悦男
- 1968 和田 進一
- 1969 遠藤 勝男
- 1969 大橋 耕一
- 1969 多田 庸男
- 1969 中島 淳
- 1969 南 弘
- 1969 並木 光雄
- 1969 福田 末廣
- 1970 相原 邦男
- 1970 浅見 憲一
- 1970 石田 英雄
- 1970 上田浩四郎
- 1970 工藤 智
- 1970 関水 一夫
- 1970 武田 光雄
- 1970 播田 光行
- 1970 藤井 政治
- 1970 森 敏樹
- 1970 渡辺 文矢
- 1970 小磯 章治
- 1971 遠藤 洋
- 1971 有岡 光男
- 1971 小川 文夫
- 1971 勝沼 勝夫
- 1971 松本 茂
- 1971 小川 和雄
- 1972 神田 陽博
- 1972 青木 行雄
- 1972 金井康太郎
- 1973 後藤 光夫
- 1973 栗本 茂生
- 1973 定森 茂
- 1973 成田 治
- 1973 横田 仁
- 1973 石原 正博
- 1973 皆川 誠吉
- 1973 森下 義昭
- 1974 岡崎 孝宣
- 1974 大野 好和
- 1974 山下 晴久
- 1974 佐々木信之
- 1975 植木 幸裕
- 1975 唐鎌 貞郎
- 1975 青木 康夫

化学系同窓会

- 1953 島村 恒夫
- 1954 丹羽 宏之
- 1960 小熊 重男
- 1960 高崎 宗利
- 1960 宮崎 久弘
- 1960 若栗 徳男
- 1960 吉永 俊明
- 1961 佐藤 昌宏

- 1961 中尾 猛
- 1961 関根 新一
- 1962 穂本 佳能
- 1962 小山内 敏
- 1962 合田 房雄
- 1962 佐久間正至
- 1962 中込 孝之
- 1963 佐藤 俊彦
- 1963 馬場 進
- 1964 苅部 宣一
- 1964 佐藤 恵子
- 1964 須田 俊男
- 1964 多田 舜保
- 1964 湯川 治夫
- 1965 和田 昂
- 1965 山崎 哲三
- 1966 吉川 重克
- 1966 渡辺 麻男
- 1967 長島 珍男
- 1968 原口 昇
- 1968 遊馬 靖美
- 1969 金子 直之
- 1969 西藤 敏男
- 1969 岩本 博行
- 1969 渡辺 健人
- 1970 中村 信雄
- 1970 菅原 康里
- 1970 中山 和夫
- 1970 松原 進
- 1970 山崎 正
- 1971 和田 欣也
- 1972 秋田 彰一
- 1972 若林 貞由
- 1972 松村 恵司
- 1973 志村 豊
- 1973 浜田 康裕
- 1973 吉村 裕至
- 1974 菊川 博文
- 1974 矢ヶ崎隆義
- 1976 乾 義秀
- 1976 長田 誠
- 1976 藤田 直人
- 1976 坂野 哲夫
- 1976 宮下 一義
- 1977 久慈 英樹
- 1978 加藤 文丸
- 1978 宮坂 金吾
- 1979 笠松 憲一
- 1981 細野 幸弘
- 1982 池田 誠

- 1982 枝光 昇
- 1983 畑 恭一
- 1984 山口 靖雄
- 1988 飯嶋 康順
- 1991 鷹野 直道
- 2008 島 洋之
- 2010 清水将太郎
- 2012 小暮 裕一
- 2014 山田 千絵
- 2015 伊藤 周平
- 匿名 15件

電気系同窓会

- 1959 横塚 謙三
- 1960 横山 隆夫
- 1960 河本 洋次
- 1961 中下 正彦
- 1961 本間 隆
- 1962 磯 三男
- 1962 小川 道雄
- 1962 加藤 勇
- 1962 佐藤 英寿
- 1962 鈴木 良平
- 1962 小林 鶴夫
- 1962 高田 貢
- 1962 藤村陽一郎
- 1962 吉岡 道雄
- 1963 鈴木 忠士
- 1963 長谷川一弘
- 1963 鮎澤 壽久
- 1964 石塚 良昭
- 1964 上野 統司
- 1964 梅津 公次
- 1964 藤山 洋一
- 1964 藤堂ひろし
- 1964 日吉 静男
- 1964 渡辺 静雄
- 1964 仲原 里治
- 1964 長嶋 秀世
- 1964 早川 勝
- 1965 小早川庸行
- 1965 藤保 昇
- 1965 寺田 邦男
- 1965 藤川 洋
- 1966 大塚 正男
- 1966 松本駿太郎
- 1966 倉賀野孝行
- 1966 小森 和雄
- 1967 杉原 精一

- 1967 南里 義光
- 1967 岸 昂
- 1967 森 信二郎
- 1968 遠藤 昊
- 1968 渡辺 光治
- 1969 平岡 幸雄
- 1969 荒川 捷英
- 1969 井上 公男
- 1970 来住 康弘
- 1970 久禮 和彦
- 1970 小林 啓一
- 1970 白鳥 敏明
- 1970 高橋 良彦
- 1970 榎本 桂一
- 1970 小林 利道
- 1970 藤原 俊男
- 1970 芳田眞喜人
- 1970 甘粕 一彦
- 1970 新海 昌美
- 1970 村木 修
- 1971 小野 彰
- 1971 田中 政司
- 1971 中山 正博
- 1971 橋本 信一
- 1971 長谷川 努
- 1971 矢島 寛
- 1971 山岸 定男
- 1971 山崎 繁延
- 1971 横須賀哲雄
- 1971 知念 利夫
- 1971 古沢 良夫
- 1972 斉藤 周平
- 1973 石北 宗一
- 1973 上野 耕平
- 1973 小野 幸男
- 1973 久米 茂
- 1973 鈴木 幹夫
- 1974 島林 正美
- 1974 中尾 英明
- 1974 菊川 亘
- 1975 工藤 一博
- 1975 小平 善光
- 1975 徳田 博文
- 1975 藤原 達雄
- 1975 湯川 良
- 1975 渡辺 隆秀
- 1976 平本 清孝
- 1976 高橋 信行
- 1977 稲垣 信夫
- 1978 佐藤 昌志

- 1978 萩原 潤
- 1979 綾部 栄
- 1979 大澤滋太郎
- 1979 根本 弘道
- 1979 諸星 佳之
- 1979 中里 利男
- 1980 若井 克友
- 1980 大谷 孝治
- 1980 藤原 義之
- 1981 竹中 了
- 1981 道端 順治
- 1982 今泉 満
- 1982 水越 芳夫
- 1983 唐崎 幸弘
- 1984 山口 光正
- 1986 宮木 義雄
- 1986 熊坂 巧
- 1988 山田 清
- 1988 尾形 充行
- 1989 石橋 誠
- 1989 田中 肇
- 1989 斎藤 義則
- 1992 清水 泰雅
- 1993 綿谷 徳晶
- 1993 勝山慎一郎
- 1995 田中 久弥
- 1997 森田 謙司
- 1998 山本 忠
- 2000 蕪澤 一之
- 2003 國定 義典
- 2004 高橋 輝壮
- 2010 坂井 直之
- 2011 杉山 卓也
- 2014 長谷川健太
- 2016 衣川 剛史
- 2018 柳田 裕太
- 2019 市ノ川博貴
- 匿名 22件

建築系同窓会

- 1959 神前 健
- 1961 笠松 征郎
- 1961 北澤 興一
- 1962 板谷 信
- 1962 北澤 洋子
- 1962 谷 政美
- 1962 山田 伸一
- 1963 石川 良男
- 1963 勝俣 邦雄
- 1963 高岡 敏夫
- 1963 高橋 庫治

- 1963 奥田 幸司
- 1964 黒澤 久
- 1965 沢田 洋二
- 1965 浜田 肇
- 1965 山口 利明
- 1966 秋田 勝也
- 1966 天野 俊之
- 1966 佐藤 紀次
- 1966 平野 久雄
- 1966 藤原 康彦
- 1966 矢田 和弘
- 1966 大山 光洋
- 1966 鈴木 正康
- 1966 山田 雅孝
- 1966 関 五郎
- 1967 佐藤 亨
- 1967 真尾 博
- 1967 上野 光三
- 1968 内山 一郎
- 1968 日下部統五郎
- 1968 中山 亮
- 1968 廣澤 和二
- 1968 福智 正純
- 1968 阿部 信夫
- 1968 伊庭 孝
- 1968 具志堅光男
- 1968 田口 達
- 1969 谷口 宗彦
- 1969 田野邊幸裕
- 1969 友野 稔
- 1969 沼尾 俊郎
- 1969 本多 政美
- 1969 小松 邦彦
- 1969 高橋 一元
- 1969 松本 一男
- 1969 坂口 周平
- 1969 初田 亨
- 1969 前田 清行
- 1969 吉永 祐一
- 1969 上間 次郎
- 1969 木村 雅俊
- 1970 岩瀬 栄子
- 1970 渡部 哲次
- 1971 内藤 幹雄
- 1971 栗田 博義
- 1971 正林 義博
- 1971 渡辺 史郎
- 1971 木村 三郎
- 1971 鈴木 公章
- 1972 稲葉 一明
- 1972 田中 幸二
- 1972 西野 元晴

- 1972 濱田 昭夫
- 1972 大木 幸夫
- 1973 山崎 忠幸
- 1973 吉田 登
- 1973 秋月 明
- 1973 島田 敏幸
- 1973 高松 良幸
- 1973 増山 英樹
- 1974 廉沢 映治
- 1974 楠 昭
- 1974 河野 工
- 1974 篠原 端
- 1974 比嘉 康夫
- 1974 平田 洋一
- 1974 松田 幹夫
- 1974 大島 英雄
- 1974 野口 昭和
- 1975 高橋 孝栄
- 1975 小内 實
- 1975 香西 朗
- 1975 倉谷 慎一
- 1976 井上 保夫
- 1976 菊池 一雄
- 1976 後藤 敏明
- 1976 嶋田 修
- 1976 五月女元良
- 1976 山越 衛
- 1976 吉田 進
- 1977 柴田 卓次
- 1978 伊藤 敏
- 1978 田原 利美
- 1978 松田 健一
- 1978 葛西 勝芳
- 1979 内野 正之
- 1979 大谷 哲
- 1979 木村 雄一
- 1979 高木 雅行
- 1979 柳田 泉章
- 1979 椿 賢治
- 1979 鳥山 富幸
- 1979 花岡 栄治
- 1980 石賀 将己
- 1980 関谷 源次
- 1980 知花 毅
- 1980 藤掛 直宏
- 1981 山根 秀明
- 1982 加藤 滋
- 1982 鈴木 敏彦
- 1983 大谷 孝志
- 1983 小林 将夫
- 1984 大瀧 高憲
- 1986 不破 達生

- 1987 金子 純
- 1989 山本 修
- 1990 村島 正彦
- 1991 石川 雅博
- 1991 香川 浩
- 1991 新海 俊一
- 1991 渡邊 文博
- 1992 表 俊博
- 1992 杉山 正紀
- 1992 瀬在 裕
- 1992 土屋 和男
- 1993 千葉 恵右
- 1993 本野裕二郎
- 1998 熊川 輝之
- 1999 北川 穂高
- 1999 佐藤 弘規
- 2001 丸山 直之
- 2001 仙波 弦
- 2008 酒井 有紀
- 2009 山岸 梨香
- 2010 野中 英治
- 2012 仲野 祥平
- 2013 藤井麻由子
- 2014 清水 大地
- 2016 山岸 慧大
- 匿名 26件

高校同窓会

- 1958 石渡 秀夫
- 1961 五十嵐 功
- 1961 鈴木 肇
- 1961 高木 賢治
- 1962 三宅 捷夫
- 1964 小林 保男
- 1964 篠 欣克
- 1964 鄭 雄飛
- 1964 黒米 富雄
- 1967 有岡 光男
- 1968 星野 明
- 1969 若林 勝司
- 1969 塚本 和秀
- 1973 太田 正利
- 1975 内野 正之
- 1975 飯塚 辰典
- 1975 岡安 彰
- 1975 本橋真規夫
- 1976 梅田 俊幸
- 1977 小口 俊明
- 1980 堀田 猛
- 1982 當間 裕和

- 2007 田中 元樹
- 2011 池田 武
- 2012 関口 一平
- 2016 渡邊 陸
- 匿名 3件

専門学校同窓会

- 1955 山本 清
- 1956 小嶋 正夫
- 1957 加藤 和夫
- 1958 梶野 和己
- 1959 青柳 久
- 1959 石川 裕倉
- 1960 関口 守正
- 1960 斎藤 昭夫
- 1961 布施 裕夫
- 1961 清水 正和
- 1962 鈴木 勝三
- 1964 石野 赫
- 1964 田中 實
- 1964 前川 武久
- 1964 井筒 威夫
- 1964 大野 英誠
- 1966 石渡 宏侑
- 1966 小林 保弘
- 1967 田中 良夫
- 1968 相澤 良夫
- 1968 酒井 史生
- 1968 山川 義則
- 1968 渡辺 征三
- 1968 加藤美恵子
- 1970 古橋 項順
- 1971 篠崎 秀夫
- 1971 浦上 信男
- 1972 森谷順次郎
- 1972 古山 正文
- 1973 鎌田 健一
- 1973 原田 寛
- 1974 近藤 松男
- 1974 御旅屋 豊
- 1976 藤田 純一
- 1977 青山 光男
- 1978 井上 博明
- 1980 大瀧 高夫
- 1980 大賀 信之
- 1980 石政 忠男
- 1981 関 裕児
- 1985 櫻井 良尚
- 1985 広瀬 竜也
- 1986 武田 信夫
- 1986 吉田 和弘

- 1987 鈴木 靖則
- 1988 町山 和人
- 1989 島井 一篤
- 1991 下村 賢司
- 1993 関田 弘美
- 1993 梶野 房己
- 1994 伊藤弘一郎
- 1995 葉山 恭徳
- 1997 齋藤 研吾
- 匿名 7件

企業(代表者)

- 成増不動産**
電1963内田 忠男
- (株)吉田建築事務所**
一級建築士事務所
建1989吉田 勝彦
- (有)小島瓦店**
建1973小島 民久
- (株)鈴木設計事務所**
建1972鈴木 達志
- (株)高巢設計事務所**
建1968高巢 光男
- (株)中村システムプランニング**
建1973中村 脩
- クオリティクリエーション(株)**
電1973小澤 和重
- (株)豊川設計事務所**
建1970豊川 裕子
- ルート設計(株)**
大井 雄司
- 機1974大井 一政
- (株)時和**
電1978石坂 豊
- タマキハウジング(株)**
建2002玉城 英之
- (株)シダグロウ**
専1999小杉 克彦
- (有)菊原建設**
専1981菊原 俊也
- (株)テクノフルー**
電1980矢吹 定夫
- (有)トータク電機**
電1999若栗 彰一

団体

- K.P.F.R OB会

皆様から納入いただいた維持協力会費は総額200万円を限度に皆様の所属支部へ支援活動交付金として還元しております。
さらに校友会の事業活動費として、学園への援助(新宿祭、八王子祭、夢工祭、ホームカミングデー等)および
学生活動への援助(本学の名誉ある文化、体育関連の学生活動等)に運用活用しております。
皆様のさらなるご協力をいただきたくお願い申し上げます。